

昭和32年1月1日



才98号

# 区政のお知らせ

## 足立区役所

発行  
 足立区千住1の50  
 東京都足立区役所  
 長谷川久勇  
 編集  
 総務課総務係  
 電話代表 { 0151  
 3111  
 足立区千住2の55  
 株式会社 巧文社(織田)  
 電話 1165、1166

# 謹賀新年



(写真は産業振興館屋上より写す)

国際連合加盟第一年の新春を迎えて国民の表情は明るい。世界の平和と人類の幸福を念願するのは国連最高の理想である。これらの達成を世界七十九ヶ国の友邦と分担する新たな責務に感激を覚える。本年は国際的に飛躍の年である。国連加入により産業に経済にあらゆる領域に活況を呈しようまことに祝福すべき新年の門出である。本区の人口は、既に三十四万を超えた。それに伴ってあらゆる分野における躍進は目覚ましい。しかし進展する本区は各方面になすべき事業が山積する。これらととり組んで伸びゆく足立の礎となるたくましい建設の槌音がやがて鳴り響こう。

元朝の静けさが街々に漲る。活動の前の一瞬の静けさだ、そして本年の抱負と構想を練る静けさだ。だがほどなく足立区の昭和三十二年の活躍が高らかに始まろう。

# 年頭の辞

足立区長 齋藤恒助

区民の皆様、昭和三十三年の年頭に際し謹んで新年のお慶びを申し上げます。

区政の運営につきましては平素多大の御理解と御厚情を賜わり深くお礼申し上げます。さて国際間の最近の情勢の推移によつて、わが国の立場も次第に確立し、特に旧臘国際連合加入の朗報は積年の念願を一挙に達成したものであり

これによつて従来の孤立的立場から堂々と世界国家の一員として、世界平和と人類の幸福のために貢献し得る体制となつたことはまことに心強いかがりであります。一方国家興隆のためには地方自治の確立が重要であることは申すまでもありません。この意味において本区が益々発展の一途を辿り人口既に三十四万有余に達し産業に経済にその他各方面において目覚ましい躍進を示しつつありますことはまことに御同慶に堪えないところであります。

しかし乍ら区当面の問題として昭和三十三年においてなすべき教育、土木、経済、民生関係等に幾多の懸案事項がありますが御承知のとおり本区の財政事情は依然都の財政調整交付金に依存する状態でありまして区財政の逼迫は区民の皆様にも種々御迷惑をおかけしている実状であり、まことに

# 年頭の挨拶

足立区議会議長 遠峰富次

昭和三十三年の新春を迎えまするに当り、常日頃区民各位の区政に対する御理解ある御協力に深甚なる感謝の意を表するものであります。

旧ろう我が国待望久しかりし国連加盟が全世界の極めて大きな支持によつて承認され、戦後十一年にして、対ソ講和条約の締結という二重のよろこびを得まして、国際社会の復帰が出来ました事は、国民の永年に渉る念願でありますだけに無上の感激とするところであります。

に遺憾と存する次第でありま

す。私どもはこれらの事情のもと

におきましても区民各位の意

の存するところを充分に体し

ましてこれを区政運営の上に

反映する努力を払わねばなら

ぬことは勿論であります。が、

希望に輝く新年を迎えるに当

り、これらの悪条件を克服し

よりよき足立建設のために一

段と奮起邁進するの覚悟を新

にするものであります。

どうか明るい、住みよい区の

建設のために区民各位の倍旧

の御支援御協力をお願い申し

上げる次第で御座います。

私はここに本区の発展と区民

各位の御多幸を心からお祈り

して年頭の御挨拶と致します

昭和三十三年元旦

たのであります。が、年々歳々

山積された事務事業の推進に

於ては、住民の協力を得ます

ことはもとより、都区の一体

制による解決が望まれること

であり、本区選出都議諸公の

指導と援助を仰ぎ、区議会が

一丸となつて之に当らねばな

らぬと存じております。之等

の成果が先ず昨年の西新井橋

大改築、千住新橋巾着拡張という事業が、如実に物語つておるものと思ひます。

の御支援御協力をお願い申し

上げる次第で御座います。

私はここに本区の発展と区民

各位の御多幸を心からお祈り

して年頭の御挨拶と致します

昭和三十三年元旦

たのであります。が、年々歳々

山積された事務事業の推進に

於ては、住民の協力を得ます

ことはもとより、都区の一体

制による解決が望まれること

であり、本区選出都議諸公の

指導と援助を仰ぎ、区議会が

一丸となつて之に当らねばな

らぬと存じております。之等

の成果が先ず昨年の西新井橋

大改築、千住新橋巾着拡張と

いう事業が、如実に物語つて

おるものと思ひます。

本年は先ずやつた方がよい事

業より、やらねばならぬ事業

の面を検討致し、本区諸懸案

事業の貫徹の為に、都議会議

員、区議会、区民全員が一体

となつて最善の方針のもとに

活動を開始する覚悟でありま

す。

何卒旧に倍する区民各位の御

協力をお願い致しますと共に

益々御健康であられますこと

をお祈り致しまして御挨拶に代えます。

# 一九五六年を顧みて

◆国連加盟、日ソ国交回復等明るい希望に明け◆

◆た昭和三十三年元旦により一層の区政の進展◆

◆を願ひながら昨年中の区政のあゆみをお知らせ◆

◆せして皆さんのご理解とご協力をお願いする◆

◆ものであります。◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

◆

区議会議長 遠峰富次

## 区議会

### 区民体育館建設

育英資金条例等可決

区の行政は、いろ／＼と区民のためになることと相談し合つて決める議決機関としての区議会と、この決められたことを行う執行機関としての区役所とが相互に密接な関係をもちながら行なわれておりますが昨年中は定例会四回、臨時会二回、合計六回の区議会が開かれた他常任委員会五十回、特別委員会十二回が開かれ、審議された案件は五十五件に達しました。この中には区政の根幹となる七億六千九百九十九万円のぼる予算、小学校の増築、新設、地方自治法の改正に伴う条例の改正、新教育委員、監査委員の同意等があります。が自立つたものとしては足立区育英資金貸付条例の制定による区内困窮学生の救済と区民体育

## 戸籍

振興のために足立区体育館建設の経費として二千二十万円の予算の議決があります。この他陳情四十八件、請願三十三件を受理しその実現に努めました。

民法における人の最も重要な身分関係を登録公証する戸籍の事務と区民の実際の居住関係を登録公証し各種行政事務の資料に供することを目的とする住民登録事務は最も重要な基礎的業務で市区町村長がこれを取扱つております。昨年の本区における各種届出の状況は次のとおりで自然増と区内転入による増加が目立っております。



## 産 業

### 商工業の合理化に 好評だった各種講習会

商工農の三つの分野を合わせもつ区内の産業は都内でも特殊の地位を占めておりますが区の産業行政は経営の合理化と指導に努め昨年中商業部門においては商店経営講習会、商店街診断、商品包装紙研究会、商品陳列研究会、商店コンクール、工業部門においては工場巡回診断を行いました。また、他大東京祭にちなんで優良製品展示会と商品廉価即売会の二つの

(寫眞は優良製品展示会)

又都内第一の農地面積を有する農業部門では江東三区連合の農産物品評会を行なう等農産向上に努めました。今年度の産業指示高は五千六十一石余となっております。

た。また、

## 土 木

### 西新井橋の架橋など 本年に期待するもの多し

昨年四月首都圏整備法が公布されいまままで遅れがちであつた都市計画事業はいよゝゝ進捗するものと思われ

ますが、昨年は長い間待望していた西新井橋の改築、千住新橋の拡巾、綾瀬橋新橋の架設、牛田堀幹線下水の改良、新田地区の排水場の新設工事等の大事業がいよゝゝ着手されました。そのほか区内道路網の基幹である環状七号路線の一部大谷田地区で街路の築造が行なわれています。又千住橋

## 昨年の主なる土木事業

### 路面補修

延長 24,984.4m  
面積 108,693.00㎡  
工事費 32,745,659円  
労務者 5,861人

### 側溝改修

延長 18,396.22m  
工事費 15,620,827円  
労務者 6,998人

### 水路改修

延長 4,690.80m  
工事費 33,550,778円  
労務者 13,420人

### 道路改修

延長 2,575.77m  
面積 17,655.10㎡  
工事費 29,152,169円  
労務者 3,819人

### 橋梁補修

江北橋外10橋  
工事費 10,844,219円  
労務者 629人

### 公園補修

北千住公園外8公園  
工事費 3,344,350円  
労務者 770人



戸町と小台町地先の荒川沿岸高潮防禦工事の実施と北鹿浜町地内の巾員十一米の幹線道路の完成等幾多の懸案事業が

寫眞は昨年中行われた衣生活改善講習会

## 民 生

### 生活の合理化へ 新生活運動活潑

着々と整備されつつあります。今年にはこれ等の大事業の促進を図ると共に管内主要道路の路面整備と河川水路の改修等未だ残された懸案事業の整備改善に万全の努力を傾注したいと思ひます。

右上の図は昨年中の土木事業について説明しましたが、他に失業対策事業として総額一千三百三十二万円に達する事業があります。

区民の福祉の為に努力している区の民生行政は昨年中区民係では新生活運動を推進し生活改善講習会を各所で五十数回に亘り開催し衣食住の改善に良い結果を生んでおります。又一方福利では公益質屋、

戸籍数及び人口							31年12月末日			
戸籍数	戸籍人口	世帯主	人		計		計	死産	婚姻	離婚
			男	女						
50,066	196,327	79,030	174,443	167,364	341,807					

  

人口動態統計表											
出 生			死 亡			自然増加			死産	婚姻	離婚
男	女	計	男	女	計	男	女	計			
2,463	2,436	4,899	1,197	935	2,122	1,276	1,501	2,777	521	2,254	254

  

住民登録動態表												
入 居					出 居					計 (差引値)		
世帯数	人		計		世帯数	人		計	世帯数	人		計
	男	女				男	女			男	女	
10,051	26,975	22,315	49,290		7,363	21,799	17,498	39,297	2,748	5,176	4,817	9,993

# 教育

## 学校増改築進む

### 婦人学級など初の試み

教育の政治的中立と教育行政の安定性を確立するため教育委員の公選制が廃止され任命制による新教育委員が昨年九月に誕生しました。その他教育関係の法律が交ったことは前々号でお知らせしたとおりです。

一方校舎の増改築は着々と進み二部授業の解消に役立っています。

●昨年の委員会開会回数

定例会 一二回  
臨時会 六回  
計 一八回

●審議された案件

議案 四〇件、請願 九件  
陳情嘆願 二九件、計七八件

●学校建設状況

増築 一〇校 三〇教室  
改築 一校 二教室  
小学校 一九校 六五教室  
改築 四校 一三教室

●区立学校数

小学校 三十七校二分枝  
中学校 一七校一分枝

●学級数と児童生徒数

小学校 八六九学級  
児童 四五、九九〇名  
中学校 三二二学級  
生徒、二〇、七七七名

●二部授業学級数、児童数

一三校 七六学級  
四、〇五〇名  
(うち十一学級六一二名は千寿第七小学校改築中のためである)

●養護学園

第十七期(一月～三月) 四六名  
第十八期(四月～七月) 六三名  
第十九期(九月～十二月) 五五名

●区立開屋幼稚園

学級数三、園児一二三名

●臨海林間学園

七月十六日～八月十九日 延三、一五五名参加

林間学園 七月二十一日～八月二十日 延一、九〇〇名参加

●成人学校

第十四回 六月十一日～七月十日 家庭科理科、カメラ教室  
家庭生活科、家庭手芸科 二四〇名

第十五回 九月十七日～十月十六日 家庭科理科、家庭手芸科 二四〇名

英会話科、社会生活科

この他青少年の不良化の問題について昨年九月足立区児童生徒健全生活指導委員会を結成し青少年を組織の力で指導

する方が効果的などころから小中学校、公立私立高等学校、聾学校が一丸となつて活動を始めています。

このほか昨年末から今年一月中行なわれる足立区婦人学級は「子供を正しく理解する学習」を行なっています。この婦人学級とは日常生活の中にある問題を自分達の生活の体験から見出し話し合つてし

べ考えること等の共同学習を通じて解決のいと口を見付けものごとを正しくとらえ考える人間、協力することの出来る人間をつくることを目的としていますが、区内PTA、婦人会等から多数の方が出席し好評をばくしています。

## 産業振興館

### 新館落成で 利用層漸増

開館以来二度目の新年を迎えた産業振興館は昨年十月日本間、浴場、楽

屋を含む新館を増築し各種の催しは非常に便利になりました。

又同時に結婚式場も新設され挙式の簡素さが大変喜ばれております。

又一方区民の悩みについてお答えしている無料区民相談は法律、戸籍、商工、税務の各部門にわたりそれぞれの専門家に依頼しご相談に応じています。

が内容は現代の世相を反映してか、借地、借家、金融、税金の問題が多く全体の半数以上はこの相談で占められています。

産業振興館使用状況 31.1.1~11.30

種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
公会堂	5	3	20	17	16	22	6	10	13	24	48	184
展示会	18	20	23	32	39	11	12	20	39	60	64	338
日本相談会	50	36	49	45	42	30	20	16	25	46	64	423
日本間(新館)	10	14	14	19	16	7	10	13	4	25	21	153
日本間(旧館)	6	8	7	10	5	7	4	1	1	20	36	105
										40	47	87

(会議室は10月から結婚式場として使用)

## あだちの今昔

今年から毎回足立の昔を尋ね現在の足立区に成長するまでの跡をふりかえり多くの先人の遺業をしのいで生いたち、旧蹟、伝説等をお話ししながら改めて私達の郷土を眺めて見たいと思います。

### 西新井の起り

今から千余年も昔の嵯峨天皇の頃東国に悪疫が流行して人々が難儀をしていました。

ちようど全国行脚中の弘法大師がたまたまこの地に到来し連日の疲れで松の根方に腰を下して休んでいると、突然十一面観音が現れ大師の危難と諸民の病災を告げたので大師は合掌礼拝して我にかえると直ちに観音のお告げに従い身を清めて十一面観音を刻みその余つた木で自像を刻んで数日間昼夜の別なく祈禱した後、自分の災厄一切を自像に負わせて井戸に沈めた(一説には土中に埋めたといわれる)ところ大師の危難は勿論、悪病一切この地を去つたので村民は喜び後この大師の像を引き上げて現在の御影堂に安置した。

先に大師は十一面観音像を本尊として一字を建立した、この大師は毎月一日、二十一日が縁日で参詣者が非常に多い。

第五出張所の電話番号は 六〇九になりました